



知る、考える、進めるために。

除染情報プラザ

福島県 環境省

くるまざ カフェ

— ふくしま “みち” さがし —

震災から5年が経過した福島。

地域によって除染が終了に向かう中、
様々な地域、様々な分野で一步ずつ日常を取り戻す
取り組みがなされています。

こうした取り組みを知り、
これから進んでいく”みち”を考えてみませんか。

※詳細は裏面をご参照ください



参加は
無料です

7月31日(日) 13:00～16:00

受付開始/12:30～

コラッセふくしま (4F 多目的ホールA)

福島市三河南町1番20号 (JR福島駅西口より徒歩3分)

電話またはメールにてお申込みください。

※会場の席に限りがございます。事前申込み(定員30名)

TEL : 024-529-5668 (受付時間 : 10時～17時)

MAIL : josen-plaza@env.go.jp

※お申込みの際には、お名前と、お住まいの市町村、
ご年齢をお知らせください。

コラッセふくしま 交通案内

- JR福島駅 (東北新幹線、東北本線、奥羽本線) 西口より徒歩3分
- 東北自動車道 福島IC、飯坂ICから車で約15分
- 駐車場(コラッセふくしま有料駐車場利用可)



主催

除染情報プラザ
(福島県、環境省共同運営)

*「くるまざカフェ」は除染情報プラザが取り組んでいる「ポジティブカフェ」の企画の一つです。



— ふくしま “みち” さがし —

福島のみち(道/未知)を探す企画を一緒に考えましょう！

福島では、放射線の不安と向き合いながら、日常を取り戻すため一歩ずつ前に向かって様々な取り組みをしている方々がいらっしゃいます。「ふくしま“みち”さがし」ではこのような方々をスピーカーとしてお招きし、話題を提供していただきます。

その後、参加者の皆様がもっと知りたいことなどをもとに、現地の状況を見たり聞いたりといった体験型の企画を考えます。

“みち”さがし-1 (13:00-)

イントロダクション

「- ふくしま“みち”さがし-について」

社会学者で福島の現状に詳しい開沼博さんから、この企画についてご紹介していただきます。



ファシリテーター
開沼 博 さん
立命館大学 准教授

現在、立命館大学衣笠総合研究機構准教授(2016-)東日本国際大学客員教授(2016-)福島大学客員研究員(2016-)Yahoo!基金評議委員(2015-)檜葉町放射線健康管理委員会副委員長(2015-)経済産業省資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会原子力小委員会委員(2014-)。

“みち”さがし- 2 (13:15-)

様々な取り組みを聞いて、 福島の今を知る

農業、酪農、地域の将来などについて、様々な分野、職業、立場から、5年が経過したそれぞれの今の話題を提供していただきます。

ゲストスピーカー (調整中)

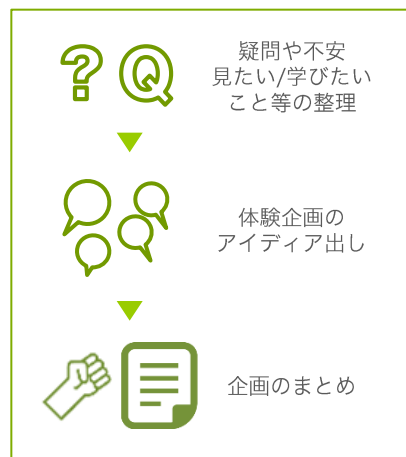
- 福島県内森林組合関係者
- 森林環境測定関係者
- 果樹農家
- 酪農家
- 米/野菜農家
- 福島県内医療関係者
- 放射線専門家 など

“みち”さがし-3 (14:30-)

体験プログラムの企画

ご参加いただく皆様に、興味・関心などに沿って、車座になってわいわいと企画をしていただきます。

- テーマA 「森山里山のいま」
- テーマB 「食の安全対策」
- テーマC 「放射線影響不安」 など



ふくしま “みち”さがしへ



後日 体験企画を形に ※

※今回みなさんと考えた企画で特に実現性が高いものについて、除染情報プラザ主催のふくしま“みち”さがし体験プログラムとして検討していきます。